

01 推進方針

従業員が心身ともに健康で、個性や能力を最大限発揮し、挑戦を続けることで、組織全体のパフォーマンスが向上し、ソリューションの創出や企業の持続的な成長、社会への価値提供につながる。「人間尊重」の基本理念に基づき、会社と従業員がともに、Well-beingの実現に積極的に取り組み、健康に関する多様な事業活動を通じて社会に貢献する。

02 目標・課題

- 目標
- ①従業員のヘルスリテラシーを高め、健康に向けた行動変容を促す。
 - ②会社と従業員がともにWell-beingを追求する。
 - ③世界を健康にするソリューションを生み出し、社会に貢献し、還元する。

目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
会社と従業員がともに取り組み、健康の実現、社会貢献の実現、Well-beingの実現という好循環をつくる。	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
①行動変容に繋がる健康イベントへの参加率100%	2025年度
②Well-beingの指標となるエンゲージメントスコア…2021年度比+5p、健康リスク値…2021年度比6p改善	
③健康に貢献するサービス数50	

自社従業員の課題

重点課題① [KGI] 行動変容に繋がる健康イベントへの参加率100%

⑧健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防

課題内容 生活習慣病をはじめとした疾病の予防対策の土台として、ヘルスリテラシーの向上と運動習慣の定着は必須。ヘルスケア推進委員による事業所ごとの課題に沿ったヘルスケアイベントに加え、全社共通の健康イベントにより組織一体で疾病予防に取り組む。

名称:健康チャレンジ月間

数値目標(KPI)	数値			単位	年度
	取組前実績値	現在の実績値	目標値		
	102.0	92.9	100	P	2021年度
		2.0改善		P	2024年度
		6.0改善		P	2025年度

重点課題② [KGI] 健康リスク値:2021年度比6p改善

①従業員のウェルビーイングの実現に関する課題

課題内容 従業員のWell-beingの実現には、従業員が元気にいきいきと働くことが出来る環境が重要。仕事上の変化はもちろん、育児や介護、加齢による不調など、私生活の変化による影響を認識し、互いに助け合い、誰もが安心して活躍できる心理的安全性の高い職場環境を構築する。

名称:健康リスク値(※国内連結対象40社。ストレス判定にて算出したスコア)

数値目標(KPI)	数値			単位	年度
	取組前実績値	現在の実績値	目標値		
	102.0	92.9	100	P	2021年度
		2.0改善		P	2024年度
		6.0改善		P	2025年度

取り組みにおける課題や困っていること

現在実施している施策での課題や困っていること
女性特有の健康課題だけでなく、男性特有の健康課題や、年齢ごとに必要となるケアについて、1つのセミナーでカバーしきれないこと。Eラーニングなどの負担をこれ以上増やさない形で、どう効率よく周知・啓蒙を図るかが課題。
今は取り組めてない、今後取り組みたい施策での課題や困っていること
全社での受動喫煙に関するリテラシー向上施策/転倒災害防止に向けた実効性のある施策

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

全社で健康チャレンジ月間を設け、健康経営を学ぶ講座、健康課題の改善に向けた行動宣言策定、ウォーキングイベントを実施し、疾病予防の土台を形る。

具体的な実践内容1

分類	外部サービス	名称	ウォーキングアプリaruku&
提供元社名	株式会社ONE COMPATH		
内容	スマホの歩数計データを利用して簡単に社内ウォーキングイベントを開催でき、リアルタイムに反映される個人・部署ランキングを常にスマホでチェック!上司や同僚とランキングを競いあうことで社内イベントが盛り上がります。		
導入時期	2018年		
選択理由	●効果 ●社名・ブランド ●機能・性能 ●使いやすさ ●実績 ●評判 ●サービス・製品の可能性		
評価(定量・定性)	●年間開催イベント数:19 参加者数:のべ2,839名 ウォーキングイベントによる運動習慣の定着 ●全社統一の健康イベント「健康チャレンジ月間」の中で、健康に向けた「宣言」が「行動」に結びつくよう、ウォーキングイベントを実施し、事業部対抗のゲーム性も盛り込んで、運動習慣の定着を促進できた。健康チャレンジ月間外においても、職場ごとにイベントを手軽に実施し、年間を通じて、運動習慣の定着と従業員間のコミュニケーション促進に寄与した。		

具体的な実践内容2

分類	自社グループ組織	名称	健康経営Eラーニング
内容	健康経営推進協議会と人材開発センターが協力して作成したオリジナル教材。健康経営推進方針の理解とヘルスリテラシー向上を促す情報を網羅。		
導入時期	2025年		
評価(定量・定性)	●健康に対する意識が変化した者:71.9% 生活習慣改善への意欲が向上した者:66.9% 学んだ内容を実践したいと感じた者:75.3% ●全事業所で一体となって実施したことで、一定の成果を上げることが出来た。実施初年度であるため、経年比較のデータがないが、今後はプレゼンティーズム、アブセンティーズムの数値も含め、検証したい。		

施策内容(重点課題2)

3Dストレスチェック&ケアにより、健康リスク値と働く環境の変化を調査。男女の健康課題について、からだどころダイバーシティセミナーを実施。

具体的な実践内容1

分類	自社グループサービス
名称	3Dストレスチェック&ケア
内容	従来のストレス判定に加え「コンディション」「環境変化の有無」の2つの指標を新たに設定し、コンディションの数値化とリスク(3段階)および環境変化の実感有無(2段階)を自動で判定できる。
導入時期	2020年
評価(定量・定性)	●ストレスチェック受検率:2019年度(導入前)97.0% →2025年度99.8% ●よりきめ細かいリスク判定を実現するとともに、個人を特定せずに動画教材への誘導などのケアを自動的に提供できる。プレゼンティーズムやアブセンティーズムを測定する設問も加え、心身のコンディションや生産性という視点でもデータを分析し、集団分析や職場改善に役立っている。

具体的な実践内容2

分類	外部サービス	名称	Grace Care
提供元社名	株式会社グレイスグループ		
内容	健康セミナー講師派遣、女性特有の健康課題に関するWeb問診、オンライン婦人科診療・処方、卵子凍結保管サービス		
導入時期	2025年	選択理由	●価格 ●使いやすさ ●実績
評価(定量・定性)	●月経に対する理解向上:90.5% / 男性の疾患に対する理解向上:94.9% Grace Care LINE登録者数:25名 ●セミナーからオンライン診療や卵子凍結保管サービス提供までを一気通貫で行える。また、サービス独自の低コスト設計により、会社側がアカウント数などを細かく管理する必要がなく、従業員側が低コストでサービスを利用することができる。		

04 健康経営の成果

検証指標	①エンゲージメントスコア、②健康リスク値、③コンディション危険判定
検証手法・方法	①エンゲージメント調査、当社オリジナルのストレスチェックで②健康リスク値と、③コンディションの状況を把握し、検証を実施。
検証結果(具体的な施策の成果を含む)	2021年度比 エンゲージメントスコア0.4p向上、健康リスク値2.0p改善、コンディション危険判定0.0p改善

データ利活用事例

事例名	健診データによる「事業所ヘルスケアレポート」の作成と活用
内容	健診データから健康状態や生活習慣の特性を見える化した「事業所ヘルスケアレポート」を全事業所に配布。このレポートを活用し、事業所ごとの従業員の健康課題を踏まえた上で、ヘルスケア推進担当者が健康イベント等の施策を展開している。
利用データ	事業所ごとの健康診断結果
利用者(ユースケース型)	事業所ヘルスケアレポートにより、可視化された事業所ごとの健康課題を踏まえて、各事業所に選任されているヘルスケア推進委員が健康イベントの企画・運営を行っている。